

09款	消防費	01項	消防費	01目	常備消防費	
事業名					職員教育訓練等事業費	単位：円
事業内容	1 消防組織法第52条に規定する初任教育課程をはじめ、救急・救助等の専科教育に派遣し、専門的技術を取得する。 2 救急救命士を計画的に育成するとともに、高度な救命技術の習得及び生涯教育をとおしての救命技術の継続を図る。 3 小型移動式クレーン及び玉掛技能講習並びに予防技術検定等、消防業務に必要な技術資格の習得を図る。 4 消防救助技術の向上を図るため、全国救助技術大会の出場をめざす。			計画値	消防学校	7人
					救急救命士養成課程研修	1人
成果	1 県消防学校教育訓練派遣により、初任教育、救急科、救助科等の教育訓練及び消防技術の質の向上が強化された。 2 救急救命士養成課程研修を1人、就業前研修及び気管挿管認定養成に1人、救急救命士の生涯教育は9人が実施し、救急救命士の充実強化がなされた。 3 消防業務資格については、小型移動式クレーン運転資格、玉掛け講習、予防技術検定資格及びその他資格を取得し、効率的な現場活動の体制づくりが強化された。 4 岩手県代表として全国消防救助技術大会に出場し、救助技術向上に努めた。			実績値	救急救命士養成課程研修	1人
					就業前研修	1人
予算額		決算額		財源内訳		
				国県支出金	地方債	その他
7,911,000		7,661,881		0	0	0
						一般財源
						7,661,881

09款	消防費	01項	消防費	01目	常備消防費	
事業名					救急救助資機材更新整備事業費	単位：円
事業内容	災害は特殊、複雑、多様化しており、市民の生命を1秒でも早く救うために高度な機能及び性能を有する救助資機材の整備を進め、救助者の負担軽減及び救命率の向上を図る。			計画値	電動油圧式救助器具	1台
	成果	電動油圧式救助器具は交通事故の際、車両に閉じ込められた怪我人を救出するために、ドアの破壊又は切断するための手持ち型救助器具である。当該器具を宮守出張所の救急車に配備したことで、管内の救助活動の充実を図ることができた。			実績値	電動油圧式救助器具
予算額		決算額		財源内訳		
				国県支出金	地方債	その他
2,855,000		2,646,000		0	0	0
						一般財源
						2,646,000

09款	消防費	01項	消防費	03目	消防施設費	
事業名					防災基盤整備事業費	単位：円
事業内容	消防力を強化するため消防団に配置している小型動力ポンプ（3台）、小型動力ポンプ積載車（1台）、小型ポンプ軽積載車（2台）を更新整備し、市民生活の安全確保を図る。			計	小型動力ポンプ	3台
					小型動力ポンプ積載車	1台
成果	消防団に配備している小型動力ポンプ、小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプ軽積載車を更新したことにより、消防防災力の充実強化と市民生活の安全確保を図ることができた。			実績	小型動力ポンプ	3台
	【更新配備先】 1 消防団第10分団第5部 小通 （小型動力ポンプ、小型動力ポンプ積載車） 2 消防団第4分団第5部 荒屋 （小型動力ポンプ、小型動力ポンプ軽積載車） 3 消防団第6分団第2部 飯豊 （小型動力ポンプ、小型動力ポンプ軽積載車）				小型動力ポンプ積載車	1台
予算額		決算額		財源内訳		
				国県支出金	地方債	その他
19,706,000		19,704,600		6,000,000	13,400,000	0
						一般財源
						304,600

09款	消防費	01項	消防費	03目	消防施設費	
事業名					消防防災施設等整備事業費	単位：円
事業内容	1 災害に強い地域を構築するため、松崎町新張地区の災害時における一時避難所に、各種イベントや憩いの場としても活用できる防災広場を整備する。			計	側溝工	L=134m
	2 消防水利が不足している地域に防火水槽及び消火栓を設置し、消防水利の充実強化を図る。また、一般住居等の整備により、消火栓設置箇所が障害箇所となる地域の移設整備を図る。				集水枘工	N=3カ所
成果	1 松崎町新張地区の一時避難所に防災ベンチを設置したほか、桜を植栽し市民の憩いの場として有効利用される防災広場を整備することができた。			実績	敷き砂利	A=540m <sup>2</sup>
	2 消火栓の設置により、計画に基づく施設整備を行うことができ、住民の不安解消にもつながった。また、地域実情にあった移設整備を行い、消防水利の充実強化を図ることができた。				ベンチ設置	N=2基
予算額		決算額		財源内訳		
				国県支出金	地方債	その他
11,418,000		10,912,320		0	2,200,000	0
						一般財源
						8,712,320

09款	消防費	01項	消防費	03目	消防施設費	
事業名					消防団活性化整備事業費	単位：円
事業内容	新入団員及び現任団員の災害活動等に対する安全を確保するため、被服等を貸与する。 消防団員の現場活動における安全管理及び健康管理を図るため、雨衣を貸与する。3カ年計画の3年目			計 画 値	新入団員 被服 35人分	現任団員 雨衣 350人分
	成果	新入団員及び現任団員の被服等の貸与を行い、安全確保を実施した。 雨衣の貸与を計画どおり実施、雨天災害活動時の安全確保を図ることができた。			実 績 値	新入団員 被服 40人分
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,936,000	6,851,088	0	0	6,000,000	851,088

09款	消防費	01項	消防費	04目	防災諸費						
事業名					防災対策事業費	単位：円					
事業内容	1 地域防災計画、水防計画の修正と実施を推進させるため防災会議を開催する。 2 後方支援に関する対策、整備を図るため関係市町村で構成する三陸地域地震災害後方支援拠点施設整備推進協議会を開催する。 3 住民の生命、身体及び財産保護措置を的確かつ迅速に実施するため国民保護協議会を開催する。 4 災害対策として、防災マップ整備、非常食の備蓄及び防災資機材の整備を行う。			計 画 値	地域防災計画等の修正 (年1回以上)	防災会議の開催 (年1回以上)	国民保護協議会の開催 (年1回以上)	非常食の備蓄 (市の人口の1/3の1食分)	水防資機材の整備	ハザードマップ整備	防災資機材整備
	成果	1 市防災会議を開催して地域防災計画を修正、県地域防災計画と整合を図った。 2 非常食の備蓄(市の人口の1/3の1食分)の更新をした。 3 防災資機材整備として土のう袋、鉄杭を購入、水害対策を図った。			実 績 値	地域防災計画等の修正	防災会議の開催	国民保護協議会の開催	非常食の備蓄	水防資機材の整備	ハザードマップ整備
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳								
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源					
	1,475,000	1,224,259	0	0	0	1,224,259					

09款	消防費	01項	消防費	04目	防災諸費	
事業名					まちまるごと防災事業費	単位：円
事業内容	<p>1 市民の「生活の安全確保」を図るため「自分の地域は自分たちで守る」という連帯意識を持ち、地域の住民が安全で住みよいまちづくりを構築するため、自主防災組織の育成強化を図る。</p> <p>2 防災意識の高揚と地域防災の向上を図り防災リーダーの養成に努める。</p> <p>3 市民への応急手当を普及し、広い面積を誇る遠野市民の安心安全を守ることを目的とする。 市民には、現在行われている普通救命講習より上級の応急手当普及員を養成するための講習会を開催し、また資格取得後は、現在行われている救急救命講習会等への指導員として派遣をする。</p>			計画	防火防災講習参加者 500人 消防フェア参加者 400人 チャレンジ防災スクール参加児童 50人 応急手当普及員養成 10人	
	<p>1 市内の自主防災組織20組織で防火防災講習会等を開催、意見交換等を通じてそれぞれの地区の防災力強化を図った。</p> <p>2 市自主防災組織連絡会研修会を開催、土砂災害対策プランニングマップ活用例について研修した。</p> <p>3 消防フェアを9月に開催、救急講演会、救助展示、煙体験、初期消火、放水訓練等により市民の防災意識向上を図った。</p> <p>4 チャレンジ防災スクールに市内の小中学校から43人が参加、「災害から身を守る」、「日頃からの備え」等を消防体験、非常食体験を通して防災意識の高揚につながった。</p> <p>5 松崎町の8つの自治会を対象に遠野市消防コミュニティ事業で防災資機材（発電機、コードリール、防災用かまど等）を整備し災害時に備えた。</p> <p>6 応急手当普及員が増加したことにより、応急手当の重要性を知る市民が増加し、救急講習会の普及啓発が図られた。 自治会、仕事場等で応急手当普及員が応急手当の重要性を説明することにより、応急手当の習得・救急講習会の開催が円滑に進んだ。</p>					実績
成果	予算額	決算額	財源内訳			
	5,141,000	4,800,999	国県支出金	地方債	その他	一般財源
			0	0	2,018,580	2,782,419